

- 中国の11月の工業利益は2カ月ぶりに伸びが鈍化。一方、生産者物価指数のうち、消費財向けは約11年ぶりの低下率を記録。生産者物価の低下は、今後の企業利益の圧迫要因となる可能性がある。
- 12月のリッチモンド連銀製造業景気指数は2カ月ぶりに上昇も、新規受注高など6カ月先予想は低下した項目が目立った。米中の製造業関連指標は一部に緩慢さがみられ、今後の動向に注視が必要か。

消費財向けPPIは約11年ぶりの低下率を記録

27日に発表された中国の11月の工業利益は前年同月比+15.5%と、2カ月ぶりに伸びが鈍化しました。前月は+28.2%と、2011年12月以来、およそ9年ぶりの高水準を記録していました。前年同月比の年初来累計は、2019年以降で初めて上昇に転じた前月に続いてプラスとなりました。中国国家统计局の、需給は安定的に改善しているとの声明が報じられたほか、エコノミストの、完成品在庫は依然、増加しているとの見方が示されました。

一方、先に発表された11月の生産者物価指数（PPI）は前年同月比-1.5%と、市場予想（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）の同-1.8%より低下率は小幅にとどまったものの、過去17カ月のうち、16カ月がマイナスでした。このうち、消費財向けは同-0.8%と、約11年ぶりの低下率を記録しました。衣料品や耐久消費財が全体より大幅な低下率となりました。こうした生産者物価の低下は、今後の企業利益の圧迫要因となる可能性があります。

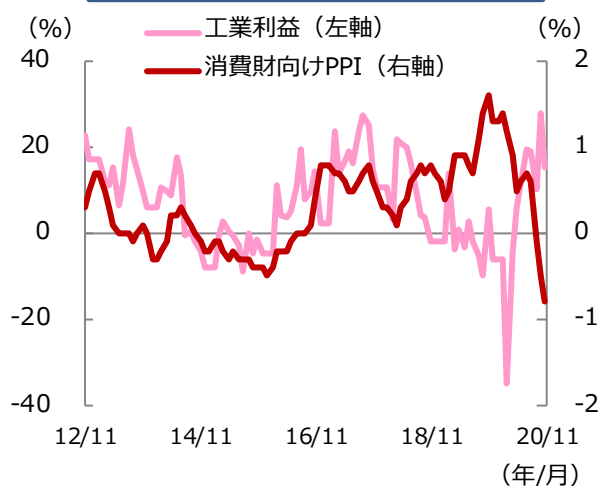
米連銀製造業景気指数は6カ月先予想が低下

米国では、22日に発表された12月のリッチモンド連銀製造業景気指数は19と、市場予想の11を上回り、2カ月ぶりに上昇しました。同指数は同連銀が管轄するバージニア州やノースカロライナ州などの約200社の製造業者に対し調査を行い、新規受注や出荷などの項目についての回答を指数化したもので、ゼロを上回ると景気が良い、下回ると景気が悪いとされています。

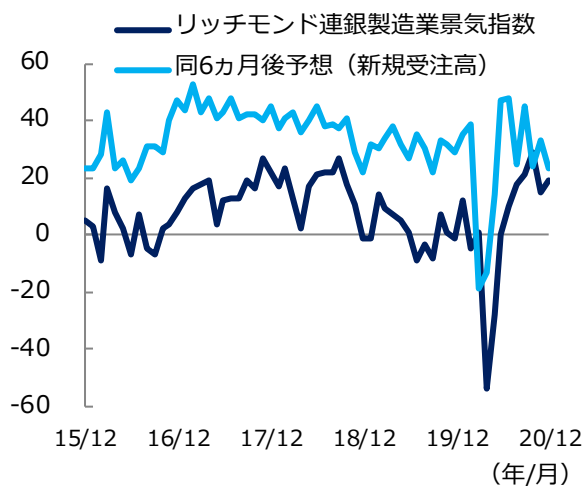
内訳をみると、多くの項目で上昇がみられました。ただし、6カ月先予想指数については、新規受注高が6月以降で最低となるなど、低下した項目が目立ちました。

米中の製造業関連指標は一部に緩慢さがみられ、今後の動向に注視が必要と思われる。

中国 工業利益と消費財PPIの推移



リッチモンド連銀景気指数の推移



出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。